

骨髄異形成症候群や急性骨髄性白血病の治療のため、当院に入院・通院された患者さんの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

当院では、ご病気で入院・通院された患者さんの試料・情報を用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

①研究課題名	悪性腫瘍の治療後に発症した骨髄性腫瘍の遺伝子学的特徴に関する後方視的研究
②実施期間	2026年05月07日から1年間
③対象となる方	2022年7月1日より2025年4月30日までの間に血液内科において骨髄性腫瘍と診断され、京都大学での遺伝子検査研究に参加した方で、それ以前に悪性腫瘍の治療歴がある方。
④研究実施機関及び研究責任者	研究実施機関 対象診療科・所属 研究責任者 京都市立病院 血液内科 宮原裕子 共同研究機関 京都大学大学院医学研究科 血液内科 蝶名林和久、諫田淳也、高折晃史 京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学 南谷泰仁、小川誠司
⑤本研究の意義、目的、方法	近年の医学的進歩によりがん患者さんの生存期間が延長され、がん治療後に骨髄性腫瘍を発症する患者さんが増加しています。抗がん薬や放射線治療後の治療関連骨髄性腫瘍は、これまで抗がん薬や放射線が造血細胞を直接障害することが原因と考えられてきましたが、近年、加齢などによる遺伝子異常の関与が示唆されています。今回、我々は先行悪性腫瘍の治療後に発症した骨髄性腫瘍の特徴について解析を行い、その遺伝子学的特徴と2次的ながんの発症に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。
⑥使用する資料・情報及び協力をお願いする内容	生年月日、性別、先行悪性腫瘍の診断、診断時期、治療内容（抗癌剤、放射線照射、内科的治療、外科的治療）、骨髄性腫瘍の診断、診断時期、診断時の臨床検査データ（血液、骨髄）、次世代シーケンス解析結果、骨髄異形成症候群から急性骨髄性白血病への移行の有無、白血病移行の診断日、骨髄性腫瘍に対する治療とその効果、転帰
⑦臨床研究倫理審査承認日	2026年05月07日
⑧研究計画書等の閲覧等	本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては「⑬ お問い合わせ」にご連絡ください。

⑨結果の公表	第88回日本血液学会学術集会（2026年10月開催）にて公表します。
⑩プライバシーの保護について	<p>① 本研究で取り扱う患者さんの個人情報（氏名及び患者番号のみ）は、その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。</p> <p>② 本研究で取り扱う患者さんの試料・情報（は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。</p> <p>③ 患者さんの個人情報と匿名化した試料・情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。</p> <p>④ なお、連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。</p>
⑪研究の資金源	一般財団法人京都予防医学センター研究助成金
⑫利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
⑬お問い合わせ	<p>本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。</p> <p>また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）から、検体利用の停止や研究結果の公表停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。</p> <p>研究責任者：宮原裕子 京都市立病院 血液内科 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2 TEL：075-311-5311(代) 平日8：30～17：15</p>